

授業概要

『十八史略』は十七の正史と宋代の史書一つのダイジェストであり、今でいう受験参考書のようなものである。日本でも初学の必読書として江戸時代の藩校や明治以後の小・中学校の教材として用いられていた。本講座は、高校教科書でも取り上げられる有名な箇所を取り上げて精読した後、『史記』『三国志』などの該当箇所とを比較する。正史と『十八史略』との表現の違いを明らかにしつつ漢文のレトリックを講義する。

授業計画

第 1 回	ガイダンスー『十八史略』と『史記』についてー
第 2 回	先從隗始ー燕世家ー
第 3 回	完璧ー廉頗藺相如列伝ー
第 4 回	鶏口牛後ー蘇秦列伝ー
第 5 回	鶏鳴狗盗ー孟嘗君列伝ー
第 6 回	管鮑之交ー管晏列伝ー
第 7 回	臥薪嘗胆・会稽之恥①ー呉太伯世家・伍子胥列伝ー
第 8 回	臥薪嘗胆・会稽之恥②ー越王勾踐世家ー
第 9 回	刺客荆軻①ー刺客列伝ー
第 10 回	刺客荆軻②ー刺客列伝ー
第 11 回	乱世之姦雄ー三国志・魏志ー
第 12 回	赤壁之戦ー三国志・呉志ー
第 13 回	股肱之力ー三国志・蜀志ー
第 14 回	出師表ー三国志・蜀志ー
第 15 回	死諸葛走生仲達ー資治通鑑ー
第 16 回	学期末試験

到達目標

- ・漢文の句法を説明できる。
- ・二つのテキストの表現の違いから、その本の特徴や作者の意図を推測できる。
- ・白文（返り点のない文章）に触れ、大筋を把握できる。

履修上の注意

授業は毎回配布するプリントを中心に行うため、授業中のメモや記述が必要となる。授業中にフォームによる出欠確認とオンラインによるリアクションペーパーを行う。また、作業をしながら講読するため、蛍光ペンなど鉛筆（黒）以外のマーカーを持参すること。

予習・復習

授業後のリアクションコメントでその回の講義内容を振り返ること。プリントはきちんと管理して学期末試験に備えること。

評価方法

学期末試験 70%、受講態度やリアクションコメントの内容 30%

テキスト

- ・教科書名：
- ・著者名：
- ・出版社名：
- ・出版年 (ISBN)：